

「氣分の病気」について
おしえて、先生！

緊張ってなんなの？

緊張は誰でもすると思いますが、そもそもこの緊張とは一体なんなのでしょう。身体的に言うと、ある事をきっかけとして脈拍が急に上がり、血圧が上昇、呼吸が速くなり、視野が狭くなる状態を指します。人によっては震えが起こったり、汗が出てきたり、口が渇いたり、赤面したり、

呼吸が速くなり、視野が狭くなる状態を指します。人によっては震えが起こったり、汗が出てきたり、口が渇いたり、赤面したり、

緊張ってなんなの？

という過酷なサバイバルゲーム

を繰り広げる中、危険を察知して逃走、闘争するための自動的な機能として備わっている大切なものです。

なもの

オリンピック選手も

緊張するの？

リオオリンピックはご覧になられましたか？日本人の快進撃はすごかつたですね。いず

「氣分の病気」についてより分かりやすく



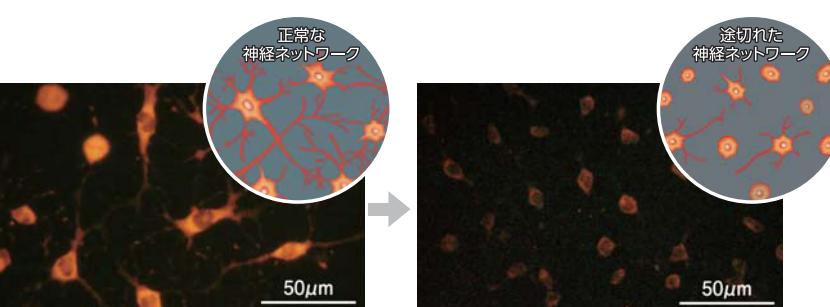
り、お手洗いに行きたくなったりする方もいらっしゃることで、汗握る」と言いましたが、見てみると、このような緊張状態を呈するのに、選手の皆さんは緊張しないのでしょうか？ 体操にしても、陸上にしてみても、少しのミスさえ許されないのに、選手の皆さんには完璧な演技やパフォーマンスを見せてくれました。とても緊張しているように見えません。彼らは、本来動物が生きるか死ぬか

超越していく、緊張すら感じないのでしょうか？ いえいえ、そんな事はありません。彼らだって私たちと同じ人間です。緊張しない訳はありません。ただ練習に練習を重ね、同じような舞台に何度も立ち、場慣れはしているでしょうし、アドレナリンが過剰に分泌されていて、極度の緊張をも凌駕しているのかかもしれません。しかしそれでも緊張は必ずしているはずです。

緊張で困っています

この「緊張」。先ほどお話しした通り、本来動物である我々にとって自動的に起こる大切な機能ですから、これで困るはずはありません。しかし、生きる

か死ぬかというサバイバル的な生活だけをしいられている一般の動物とは違い、人生に意味や意義を感じる我々人間ではこの緊張が逆にハンディになることがあるようです。いわゆる「あがり症」というやつですね。医学的には「社交不安障害」と呼ばれてています。これで困っている方はいませんか。今では専門の薬も出でていて、治療可能となっています。お困りの方は精神科でご相談ください。きっと悩みが改善されることでしょう。



正常な脳神経

写真提供:幹メンタルクリニック 斎藤利和先生



取材した先生の紹介 犬尾 明文 先生

先生は鳥栖のいぬお病院でお仕事をされています。精神科がご専門でさまざまなこころの病気の治療をされているようです。こころの世界は難しいようですが、この連載企画を通してこれから分かりやすく説明していただこうと思います。

「あがり症」チェックリスト

【あがる場面】

- 人前で意見、発表をする
- 人の目を見ながら話す
- 結婚式、葬式など人前で字を書く
- 人前で食事をする
- 会社で電話をする
- 人の集まる場所に行く

【その時の症状】

- 過度の緊張におそれわれる
- 心臓がドキドキする
- 声が震える、声がつまり
- 赤面する、顔がこわばる
- 手や足がふるえる
- 息や胸がつまり
- 何をしゃべっていいのか分からなくなる

新病院完成

昨年新病棟が完成したばかりのいぬお病院。全く新しいコンセプトの精神科病院です。



☎0942-82-7007

佐賀県鳥栖市萱方町110-1
【診察】9:00 ~ 17:00 【休診】日・祝日
【初診の方でも予約はいりません】

いぬお病院